

[レジュメ]

トランプ政権のアジア太平洋

白石隆

1. 長期の趨勢

(1) 富の分布の変化

世界経済 33兆ドル(2000) → 75兆ドル(2015)

G7の地盤沈下: 66%(2000) → 46%(2015)

新興国の台頭: 20%(2000) → 40%(2015)

欧米の地盤沈下: 60%(2000) → 48%(2015)

「アジア」の台頭: 26%(2000) → 33%(2015)

日本の地盤沈下: 14%(2000) → 6%(2015)

中国の台頭: 4%(2000) → 15%(2015)

インドの台頭: 2.9%(2015) → 3.6%(2020)

ASEANの成長: 3.3%(2015) → 3.7%(2020)

(2) 力のバランスの変化(米国の軍事費を100として)

中国: 3.3(1989) → 33.1(2014)

中国軍事費(名目)平均伸び率: 14.7%(1989-2014)

ソ連/ロシア: 66(1988) → 6(1998) → 16(2014)

日本: 8(1989) → 16(1999) → 10(2014)

インド: 3.5(1989) → 8.7(2014)

オーストラリア: 2.8(1989) → 4.7(2014)

(3) 期待と現実

(1996-05、2006-15、一人当たり実質国民所得伸び率)

日本: 6.1 → 3.8

米国: 22.7 → 4

英国: 26.5 → 2.5

フランス: 17.4 → 1.1

ドイツ: 11.4 → 1.1

中国: 104.7 → 110.5

韓国: 44.7 → 28.5

インドネシア: 7.9 → 46.3

フィリピン: 18.8 → 32.2

## トランプ政権のアジア太平洋

タイ：17・9→25・6

新興国の台頭、中国の台頭によって、American Unipolarity は終わった  
しかし、それでも、米国は圧倒的な大国（世界の GDP の 23-24%）にとどまる。米国中心の同盟システムの優位（軍事力、産業技術力、ソフトパワー）も変わらない。

アジアは新興国の集合地域、いかに膨らんだ期待に対応するか、対応できるか、どこに資源配分するか：アジアの課題

### 2 これまでの米国の政策とトランプ登場の意味

#### 2-1 1980年代半ば以降の米国の大戦略

「アメリカの平和」（唯一の超大国）

グローバル化戦略：

国境を超えた資本移動の自由

通商の自由

人権・民主主義推進（ガバナンス改革）

地域戦略：二つの海洋同盟、地域大国との連携（中東では破綻）

アジア太平洋：リバランシング（pivot/rebalancing）

軍事的リバランシング（太平洋60、大西洋40）

政治的連携、アセアン+のプロセスへの関与（EAS、ARF、ADMM+）

TPP（21世紀の通商秩序の構築）

同盟重視 > G2（中国重視）

その特徴：

米中「グラント・バーゲン」崩壊後の戦略（関与と抑止）調整

#### 2-2 トランプ新政権

○ 人事と政策決定プロセス：グループ・ダイナミクス

アメリカ・ファースト vs. 伝統的アプローチ

クシュナー、(コーン) vs. (バノン、プリーバス) vs. (ナヴァエロ)、ロス

ケリー（首席補佐官）+マックマスター（NSC 補佐官）、マティス（国防長官）、ティラーソン（国務長官）

ホワイトハウスの政策決定プロセス

大統領へのアクセス、スケジュール管理

principals、deputies の調整

発信の管理

最大のリスクは何か：トランプ本人

- 利益相反（中国とのディール、インドネシアとのディール）
- アメリカ民主主義の強靱性/構造的欠陥 ホワイトハウスと議会

## 2-3 トランプ政権の政策

- 「アメリカ・ファースト」：ナショナリズム (vs. internationalism)  
できる限り大きな行動の自由＝国益の狭い定義を基本とする  
国際社会をアナキーにおける弱肉強食のゼロ・サム・ゲームの世界と捉える (vs. 世界をアメリカのようにしようという liberal internationalism の行きすぎへの反動、「アメリカ・ファースト」に意味があるとすれば、それはどのような問題か?)
  - 同盟体制への無理解、バリ協定離脱
  - マルティラテラリズム<ユニラテラリズム、バイラテラリズム  
大西洋同盟 (NATO)、EU に対する疑念
  - 面の「庭仕事」(ジョージ・シュルツ) <バイの「取引」
  - transactional  
通商 マルティ<バイ>
  - 安全保障案件と経済(通商)案件の取引(北朝鮮・中国)
  - 人権・自由民主主義に関心なし
  - 市場経済、規制反対、競争条件平準化 (vs. 国家資本主義)
- アジア太平洋政策
  - ・同盟確認(日本+オーストラリア、韓国?) vs. NATO
  - ・中国：北朝鮮と為替操作の取引  
いつまで続くのか? 北朝鮮、サイバー、通商 (level playing field)  
利益相反の問題(クッシュナー、ゴールドマン・サックス)
  - ・アセアン：??? (北朝鮮問題への協力要請)
  - ・EAS、ARF への関与???
- 危機対応：北朝鮮  
北朝鮮問題の解決とはどういう意味か?
  - 核・ミサイル開発の停止、撤廃?
  - かつてのミャンマーのような中国に依存した北朝鮮か?

## トランプ政権のアジア太平洋

中立・非核・安定・繁栄した大韓国か？

核抑止か、非対称戦略か？

最大の問題：不確実性 (uncertainty) の上昇

不確実性 (uncertainty) とリスク (risk)

### 3 習近平政権の中国と「中国の夢」

#### (1) 中長期の課題

新常态と経済成長モデルの転換（膨らんだ期待にどう応えるか）

「中国の夢」：China Dream と Chinese Dream

その課題：資源配分

超大国＝盟主の夢（富国強軍、海洋大国）

ソーシャル・セーフティ・ネットの整備

二兎は追えない＋ハード・ランディングの懸念

#### (2) 2017年の課題：党大会と次期政権の人事

軍掌握、反腐敗、対外関係の安定化

事実上の定年制の撤廃、常務委員会の構成

riding the tiger

#### (3) 対外政策課題：成長の政治の戦略環境維持

対外的摩擦は避ける（不確実性をできるだけ小さくする）

トランプ政権への対応

対日政策

南シナ海における「棚上げ」受け入れ

「自由貿易の旗手」習近平（国内向け）：RCEP

一帯一路：経済協力案件の総称

エネルギー、インフラ、工業団地、交通主体

ロシア、パキスタン、マレーシア、インドネシア・・・

エネルギー供給、国際公共投資、カウンター・リバランシング

新しい global value chains の構築

どれほど続くのか？できるのか？

### 4 アジア地域システムのダイナミズム

China pivot?

地域協力の特徴：いかなるリスクをいかにヘッジするか？

- ・東アジア危機（1997-98）、リスクとしての米国→東アジア共同体
- ・2006-2016 中国の脅威（南シナ海）  
リスクとしての中国→アセアン+の拡大

トランプ時代のリスク

- ・いま、ここにある不確実性（米国）
- ・中長期的不確実性（中国）：南シナ海問題現状凍結と通商・経済協力  
ASEAN とはなにか

- ・「てこ」としての有用性
- ・安全保障共同体の欠陥を経済共同体の発展で埋めあわせる（RCEP）  
中国一人勝ちへの懸念

個別対応：ナショナリズム+経済成長の政治＝「エルドアン化」？

国内政治にできるだけ制約されず政府の行動の自由をいかに確保するか

フィリピン：トランプのドゥテルテ評価・習近平との取引  
マクロ経済安定、war on drugs（中産階級の期待に応える）

タイ：「国王を元首とする民主主義」

現国王にその能力があるのか？軍人事介入、王室財産運用への介入

インドネシア：ジャカルタ知事選のショック

イスラム勢力の台頭+格差拡大＝？

China risk の顕在化

マレーシア

政治対立の激化 ナジブ vs. アンワル+マハティール

## 5 日本の対応

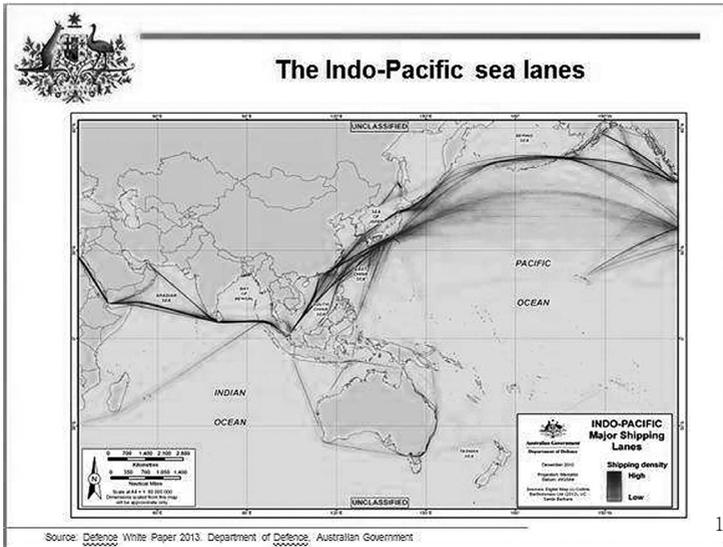
日米関係：同盟確認（国防省）+日米経済対話（NEC）

日中関係：関係改善の模索（二階、今井訪中、北戴河）

アジア太平洋：「舞台」としてのアジア太平洋

バイとマルティの組み合わせ

[資料]



1

Military Expenditure by Country  
in millions of US\$ at current prices and exchange rates, 1988-2016  
SIPRI 2017

	USA	China		Russia/USSR		Japan		Korea		Australia		India
1988	557492	-	-	371075	66	45687	8.2	13675	2.5	15377	2.8	18119
1989	551766	18263	3.3	344076	62.4	46585	8.4	14544	2.6	15247	2.8	19093
1990	527097	19735	3.7	291083	55.2	47810	9.1	15076	2.9	15322	2.9	18807
2014	609914	200772	32.9	84697	13.9	46635	7.6	37286	6.1	25784	4.2	50914
2015	596010	214093	35.9	66419	11.1	41103	6.9	36433	6.1	24040	4	51295
2016	611186	215176	35.2	69245	11.3	46126	7.5	36245	5.9	24617	4	55923
ASEAN	2016											
Indonesia	8183	3.8										
Malaysia	4169	1.9										
Philippines	3899	1.8										
Singapore	9959	4.6										
Thailand	5680	2.7										
Vietnam	5017	2.3										
China		100										

2

	1990	2000	2010	2015	2020	1990	2000	2010	2015	2020
World	22770	33181	65206	74551	96193	100	100	100	100	100
Advanced Economies	18153	26486	42813	44940	54673	79.7	79.8	65.7	60.3	56.8
G7	14787	21778	32683	34530	41940	64.9	65.6	50.1	46.3	43.6
Emerging Economies	4617	6695	22393	29611	41520	20.3	20.2	34.3	39.7	43.2
N. America	6572	11024	16572	19541	24252	28.9	33.2	25.4	26.2	25.2
USA	5980	10285	14958	17968	22294	26.3	31	22.9	24.1	23.2
Canada	592	739	1614	1573	1958	2.6	2.23	2.48	2.11	2.04
EU(European Union)	7259	8824	16966	16449	20188	31.9	26.6	26	22.1	21
UK	1093	1549	2407	2865	3852	4.8	4.67	3.69	3.84	4
France	1279	1372	2652	2423	2940	5.62	4.13	4.07	3.25	3.06
Germany	1593	1956	3423	3371	4005	7	5.89	5.25	4.52	4.16
Italy	1140	1146	2131	1819	2144	5.01	3.45	3.27	2.44	2.23
Indo-Pacific	5181	8711	18735	24328	33966	22.8	26.3	28.7	32.6	35.3
Japan	3104	4731	5499	4116	4747	13.6	14.3	8.43	5.52	4.93
China	393	1205	6040	11385	17100	1.73	3.63	9.26	15.3	17.8
S. Korea	279	561	1094	1393	1899	1.23	1.69	1.68	1.87	1.97
Southeast Asia	373	637	1982	2459	3574	1.64	1.92	3.04	3.3	3.72
Indonesia	138	179	755	873	1194	0.61	0.54	1.16	1.17	1.24
Malaysia	47	101	255	313	544	0.21	0.3	0.39	0.42	0.57
Philippines	49	81	200	299	507	0.22	0.24	0.31	0.4	0.53
Singapore	39	96	236	294	395	0.17	0.29	0.36	0.39	0.41
Thailand	88	126	341	374	474	0.39	0.38	0.52	0.5	0.49
Myanmar	n/a	10	50	66	106	n/	0.03	0.08	0.09	0.11
Vietnam	6	31	113	199	287	0.03	0.09	0.17	0.27	0.3
South Asia	419	623	2056	2736	3878	1.84	1.88	3.15	3.67	4.03
India	327	477	1706	2183	3444	1.44	1.44	2.62	2.93	3.58
Oceania	369	451	1389	1412	1711	1.62	1.36	2.13	1.89	1.78
Australia	323	397	1245	1241	1516	1.42	1.2	1.91	1.66	1.58

unit: billion USD

3

Changes in the Relative and Absolute Size of the Middle Class\*, by country (1990-2008, based on household survey means)

country	Percentage point change in population share	Change in population (million)
Bangladesh	8.3	18.5
China (PRC)	61.4	844.6
India	12.8	205
Indonesia	46.3	113.7
Malaysia	5.6	6.5
Pakistan	36.5	65.9
Philippines	12	23.6
Thailand	17.6	17.2
Vietnam	57.4	49.3

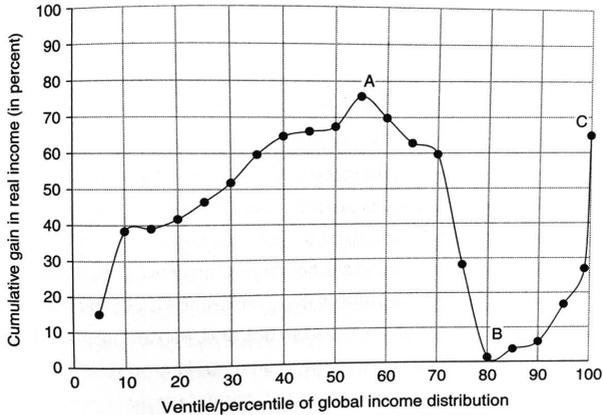
Asia's Emerging Middle Class: Past, Present, And Future (ADB, 2010), p. 8.

\* The middle class is defined as those with consumption of \$2-\$20 per person in 2005 PPP\$.

4

トランプ政権のアジア太平洋

Percentile of Global Income Distribution 1988-2007



Branko Milanovic, Global Inequality: A New Approach for the Age of Globalization より引用

5

増大する期待の革命:一人当たり実質国内所得(各国通貨建)

GDP per capita, constant prices (local currencies)  
所得の伸び

	1996	2005	2006	2015	1996-2005	2006-2015
中国	8916	18251	20460	43074	205	211
韓国	14852807	21486890	22489819	28906439	145	129
インドネシア	21404547	23091989	24019723	35140028	108	146
マレーシア	21563	24899	25942	34284	115	132
フィリピン	44245	52560	54228	74203	119	137
シンガポール	40838	54568	57572	70704	134	123
タイ	89141	105117	109533	137588	118	126
ベトナム	11912923	19281532	20399433	31369228	162	154
カナダ	37344	46652	47396	49357	125	104
米国	39176	48070	48887	50836	123	104
フランス	26864	31548	32067	32427	117	101
ドイツ	26328	29325	30507	33869	111	111
イタリア	25107	28163	28634	25450	112	89
オランダ	29920	36323	37542	38429	121	102
スペイン	18412	23483	24080	23110	128	96
英国	20763	26275	26819	27483	127	102
日本	3717615	3944525	4011484	4164500	106	104

IMF, World Economic Outlook Databaseから筆者作成

6